

質問事項	質問の要旨
<p>1 介護保険の現状と制度改善を</p>	<p>介護保険は2000年4月に「介護の社会化」としての制度が開始されてから、25年が経過しました。</p> <p>1年前にも介護保険制度について質問しており、その時、女川町は訪問介護事業所が一つの自治体でしたが、現在は、訪問介護事業所がなくなり、全国で116町村ゼロの中に入っています。現状は近隣の事業所へ依頼している実態ですが、次の点について伺います。</p> <p>(1) 統計書によると、介護サービスの提供状況は、375人のうち在宅は260人（令和6年度）ですが、現状について地域ケアネットワーク会議での課題等詳細を伺います。</p> <p>(2) 厚生労働省は2027年にむけて「利用料の2割負担の対象拡大」「ケアプランの有料化」「要介護1、2の生活援助サービス等を総合事業に移行」等の制度の見直し案を出していますが、2025年6～7月に共同通信社が自治体（47都道府県、1741市町村長）を対象にアンケート調査を実施した結果では、9割を超える自治体が「介護保険制度の持続可能性」に対して強い疑義を抱いているという実態が</p>

質問事項	質問の要旨
2 孤独死を防ぐために	明らかになっています。このことについての
	見解は。
	(3) 国に対して介護保険財政の国庫負担、引き
	上げを訴えていくとともに、町としての独自の
	支援策も必要ではないでしょうか。
	(質問の相手：町長、担当課長)
	(1) 町では一人暮らしの高齢者などの自宅に緊急
	通報装置を設置し、安否確認を実施すること
	で、高齢者の生活の安定を図るとしていま
	すが、令和6年度の設置台数は43台です。な
ぜ、一人暮らしの方が600人ほどいると言われ	
ているのに利用者が少ないのですか。	
(2) 町として、もっと積極的に声掛けを行い、	
孤独死を防ぐ対策として普及させるべきと考	
えますが、見解を伺います。	
(質問の相手：町長、担当課長)	